

## 平成 31 年度予算の編成にあたっての町長特記指示事項

### 1 『環境創造都市ニセコ』の実現に向けて《ニセコ町総合計画》

- 1) 資源と経済が循環するニセコ
- 2) 人の力が発揮され笑顔が広がる「心温かなニセコ」
- 3) 町民のみなさまとともに、みんなで築く「元気なニセコ」

### 2 まちづくりのための 10 の目標

- ① 農業所得向上対策の実践による**夢のある農業**
- ② 農業と商工観光が連携し、自律した**循環型経済**の地域
- ③ 水環境を守り、地球環境負荷を低減させる「**環境モデル都市**」
- ④ 教育環境を整備・拡充し、**安心して子育てができる教育**のまち
- ⑤ これまでの社会を創ってこられた**高齢者を大切に**する温かなまち
- ⑥ **医療と福祉の拡充**による安心のまち
- ⑦ 消防・救急体制整備による**災害に強い**まち
- ⑧ お互いを尊重し、**頑張る人を応援する**人の輪が広がるまち
- ⑨ 地域の産業を育て、雇用と暮らしを守る**内発的産業育成**のまち
- ⑩ 公正で効率的な自治体運営を実践する**地方政府**の確立

### 3 予算規模の大きな事業及び特記事業

- 1) 「SDG s 未来都市」事業及び「環境モデル都市」事業の推進
- 2) 地方創生事業の推進
- 3) 国営緊急農地再編整備事業の推進
- 4) 役場防災庁舎の整備
- 5) ローカルスマート交通対策(域内交通)の確立及び実施
- 6) 省エネ、再生可能エネルギーの導入促進（町内の全てにおいての視点）
- 7) 道の駅ニセコビュープラザ再整備実施計画の検討
- 8) 近藤小学校体育館の改修整備、西富地区町民センターの整備
- 9) ニセコ町プールの整備計画の樹立(場所、概算事業費、補助金の選定)
- 10) こども遊び場の創設の検討（子供にとって遊ぶことは生きること）
- 11) 子育て支援策の拡充検討
- 12) 有島記念公園牧場跡・羊舎の活用方策樹立及び整備着手
- 13) 道路・橋梁・公営住宅の長寿命化更新
- 14) 水道施設の整備拡充
- 15) 国際リゾートオフィス、テレワークの拠点設置の検討
- 16) 自主防災組織の設立、停電対応電源等の整備
- 17) AI の導入調査検討
- 18) 職員の福利厚生及び職員研修の拡充

#### 4 基本的な事項

- ① 「最小の経費で最大の効果を」との旧来型発想から脱皮し、住民の福祉向上とニセコ町の活性化のため「最大の効果を最小の経費」で実施するよう**発想の転換**を。
- ② 時代遅れの「**当初予算主義思想から脱皮**」し、スピード感を持って「まちづくり」や「組織改革」に挑戦を。**課題を先送りしないこと**。
- ③ 「**縦割り意識を排除**」し、関係課・係との情報共有・連携に勤めること。「たぶん、〇〇だ」と思うなど**推測による議論・結論**は最悪。「**必ず事実の確認**」を行うこと。
- ④ 町の施設整備や備品見積もり等は、自宅（自分のお金）で購入すると同じ視点で、多様な検討を加え、**利用者の利便**と維持経費等総合的な検討を。  
初期投資を安価にすることに拘泥することなく、**ライフサイクルコスト・将来の価値**を考えること。
- ⑤ 良い仕事をするうえで、**情報の収集と研修・自己研鑽**は、極めて重要である。各課において、職員の資質向上や町のためになす活動については、創意と工夫をしつつ積極的な予算づくりに努力願いたい。地域に飛び出す職員を応援する。  
「**前例主義での予算づくりから脱皮**」を。
- ⑥ 『**環境モデル都市**』として、地球環境負荷の低減、持続する循環社会  
① **物質循環**、②**エネルギー循環**、③**経済循環** を基本としての予算づくりを。
- ⑦ 「日本国憲法」「ニセコ町まちづくり基本条例」「ニセコ町総合計画」「ニセコ町総合戦略」をはじめとする各種計画を念頭に予算編成を。
- ⑧ 前年要求予算が付かなかったことをもって、予算要求をしないことがないこと。
- ⑨ 地域にある資源を有効に活用すること、地域にある産業、事業所、農業等の内発的産業の徹底支援。また、地域で頑張っている人を応援することに最大限の努力を。  
**内発的産業・地元産業を支援する新たな仕組みを創設**
- ⑩ 知恵を結集し、力を合わせて「環境モデル都市」「SDGs 未来都市」を推進する。
- ⑪ 課長等のリーダーシップのもと、仕事をシェアするなど助け合い、時間外勤務を抑制する。また、職員の健康・福利厚生・休暇の取得等に十分配慮し、**元気で明るい職場**を創る。相互に助け合い、有給休暇完全消化の職場を目指す。
- ⑫ 前例主義から脱皮し、先進性を持って新たな視点で仕事を整理すること。  
「自治体との比較」⇒ 遅れた自治体とニセコ町を比較する意味があるのか。  
「前年度との比較」⇒ 長期的視点の欠落、複数年予算の検討を視野に。
- ⑬ 環境美化に努め、公共トイレは今一度確認を。利用者にとってトイレは、使いやすく快適か。子ども、子育てへの配慮はあるか。
- ⑭ 仕事における全ての発想の原点は、主権者である町民の視点  
(公共の3原則＝公益・公正・公開)
- ⑮ 国や北海道とは、対等・協力の関係にあることを自覚し、誇りを持って職務に邁進願いたい。

(2018.10.23 katayama)